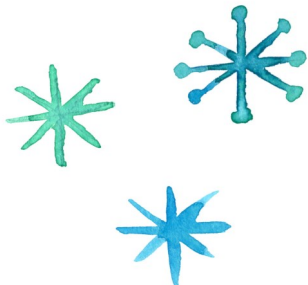


としよかん だより

2025.2 No.204



長崎市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1

TEL 095-829-4946

FAX 095-829-4948

ホームページ

<https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>

ホームページ



長崎市電子図書館



Topic

■ 2/11(火・祝)は開館します

長崎市立図書館の休館日は火曜日ですが、火曜日が祝日にあたるときは、開館します。

※2025年の火曜開館日

2/11、4/29、5/6、9/23



Information

図書の展示

- 1階特集展示 恋愛って何? (~2/27)
- 1階特別展示 2025長崎ランタンフェスティバル (~2/12)
- 2階特集展示 暮らしと地図 (~2/27)
- 2階特別展示 グラバー園と古写真 (2/2~)
 - 長崎検定に挑む! (2/2~)
 - 今日からスタート!生活習慣改善計画 (2/3~2/17)
 - 発展とその闇~試行錯誤の歴史 (~2/17)
 - ごみ問題。(2/19~)
- YA特集展示 現場を知る
- YA投稿展示 載ってほしい!紙幣の人物
- 児童特集展示 すんでみたいな こんなおうち
- 児童ミニ展示 鬼はそと!福はうち!節分のおはなし (~2/3)
 - おおきくなあれ! (2/5~)

図書館アンケート
実施中!(~2/9まで)



↑
回答はこちらから
(紙のアンケートも
配布しています)

令和6年度 長崎市教育委員会表彰



図書館ボランティアの古沢さんと藤さんが長崎市教育委員会表彰を受けました。

お二人は市立図書館開館以来17年にわたり、図書館ボランティアの活動を行っていただき、長崎市の読書活動の推進、社会教育の振興に寄与していただきました。

イベント

グラバー園開園50周年記念 古写真展

— 影像に観る居留地の光(かがやき) —

日時: 2月5日(水)~3月31日(月)

場所: クロスロード・1階・2階各所

●シンポジウム●

テーマ: 異文化の出会いとメタモルフォーゼ

登壇: 姫野順一氏、ブライアン・バークガフニ氏
馳月基矢氏

日時: 3月1日(土) 14:00~16:00

場所: 多目的ホール

定員: 100名

開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページ・SNS・館内ポスターをご確認ください。

BOOKS : 涙

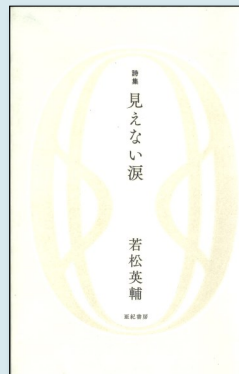
嬉しい時、悲しい時、感動した時、悔しい時……。人はいつ、そして、なぜ涙を流すのでしょうか。今月は涙にまつわる本をご紹介します。



大人は泣かないと 思っていた

寺地 はるな/著
集英社
B913.6テラ(文庫)

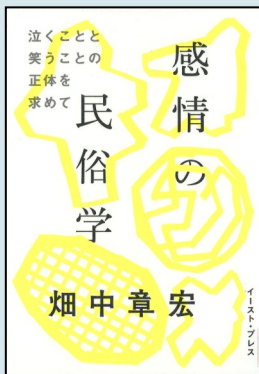
「隣のばあさんが柚子を盗む現場を押さえろ」と父から言われた三十過ぎの息子。ところが犯人は思いもよらない人物だった。語り手を変えながら、人とのつながり、家族、生き方を描く7編の連作小説。



見えない涙

若松 英輔/著
亜紀書房
911.5ワ(2階フロア)

批評家・随筆家である著者は、東日本大震災を境に詩への向き合い方が一変したという。目には見えない感情を、言葉を紡ぎ26編の詩で描いていく。

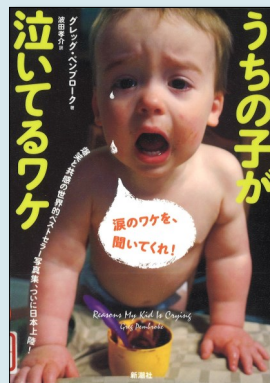


感情の民俗学

泣くことと笑うことの正体を
求めて

畑中 章宏/著
イースト・プレス
380.4ハ(2階フロア)

泣いたり怒ったりといった感情表現は、時代や慣習によって変遷を遂げてきた。感情とは何なのか、どこからくるのか。その正体に近づくため、歴史や政治などさまざまな視点から掘り下げる。

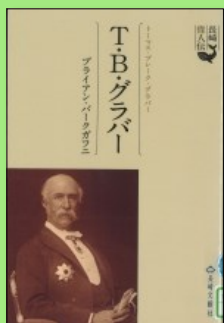


うちの子が泣いてるワケ 涙のワケを、聞いてくれ!

グレッグ・ペンブローク/[編]著
波田 孝介/訳
新潮社
748ウ(4階書庫)

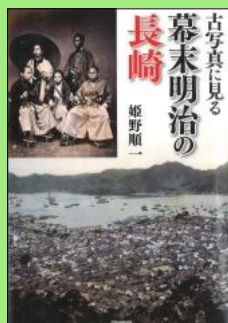
まだ十分に言葉で気持ちを伝えることができない赤ちゃんや小さな子どもたちにとって、泣くことは表現方法のひとつ。ページをめくると子どもたちのパワフルな泣き顔とその理由がたくさん。涙のワケを、聞いてください!

◆「グラバー園開園50周年記念 古写真展 シンポジウム」(3/1開催)に登壇される先生方の著作◆



幕末から明治にかけ活躍し、日本の近代化に寄与した商人グラバー。彼の波乱万丈な生涯を史料をもとに考察していく。

T・B・グラバー 1838-1911
ブライアン・パークガフニ/著
長崎文献社
N289.3グ(2階地域) など



幕末明治の長崎の人々と街並みを、貴重な古写真コレクションと臨場感ある解説で浮かび上がらせる。

古写真に見る幕末明治の長崎
姫野 順一/著
明石書店
N219.3ヒ(2階地域) など



シーボルトの娘として生まれ、のちに日本初の産科女医になったイネ。その生涯を描く三部作の第一作目。

おイネの十徳
馳月 基矢/著
長崎文献社
N913.6ハセ(2階地域) など

